

2004年11月期 決算説明会

2005年1月24日

NACHI 株式会社 不二越

2004年11月期連結決算の概要

(単位:億円)

	2003年度 実績(A)	2004年度 実績(B)	増減(率) (B) - (A)
売上高	1,466	1,588	(+8.3%) +122
営業利益	(5.2%) 76	(6.3%) 100	(+30.8%) +23
経常利益	(4.2%) 62	(5.3%) 84	(+36.5%) +22
特別利益	1	1	
特別損失	17	16	1
当期純利益	18	41	(2.3倍) +22

会社の所在地別の概況

売上高

営業利益

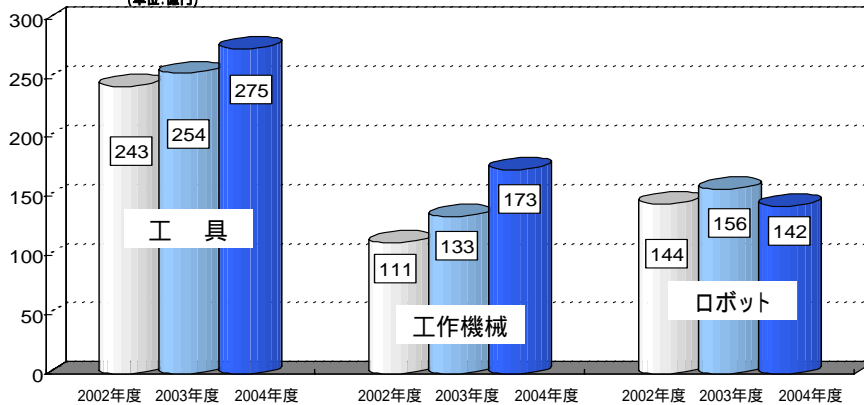
(単位:億円)

		2003年度 実績(A)	2004年度 実績(B)	増減率(% (B) / (A))	2003年度 実績(A)	2004年度 実績(B)	増減額 (B) - (A)	
単 独		1,157	1,284	+10.9	50	65	+14	
子 会 社	国 内	販売会社	179	249	+39.1	3	7	+4
		生産会社	304	330	+8.6	11	14	+3
			483	579	+19.9	14	21	+7
	海 外	米 州	205	180	12.2	9	8	1
		欧 州	67	81	+20.9	1	1	+2
		ア ジ ア	55	66	+20.0	2	3	+2
			328	327	0.3	9	13	+4
	計		811	906	+11.7	23	34	+11
	小 計		1,968	2,190	+11.3	73	98	+26
	消 去		502	601		2	2	+1
連結売上高		1,466	1,588	+8.3	76	100	+23	

3

主要事業の売上高 (機械工具)

(単位:億円)



<工具>

- ・国内の自動車や産業機械向け、アジア向けが堅調に推移する。
- ・とくに、歯車加工用の精密工具、コーティング工具が拡大。

<工作機械>

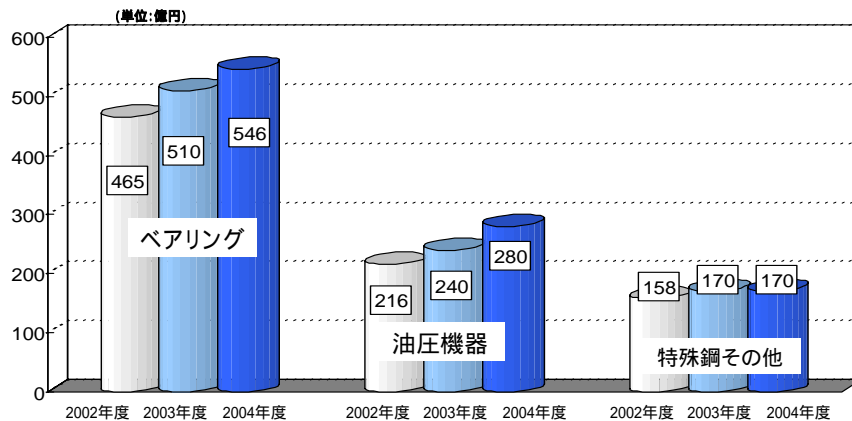
- ・精密レンズや液晶パネル部品用の超精密加工機が大幅に拡大。
- ・自動車向けは、GPAの大型案件やエンジン部品用の工作機械が伸長

<ロボット>

- ・日系自動車向けは、国内外とも好調継続するが、BIG3向けが減少。
- ・04年後半からは、大型ガラス基板搬送用ロボットを納入開始。

4

主要事業の売上高 (部品、特殊鋼)



<ベアリング>

- ・カーエアコンや等速ジョイント用など自動車用高機能ベアリングの生産を、世界三極で拡大。
- ・工作機械、印刷機械、射出成形機、減速機など産業機械用高機能品の需要が大きく伸長。

<油圧機器>

- ・アメリカ、ヨーロッパ、アジアと世界的な建設機械需要の拡大と、国内の産業機械向け的好調を背景に、大幅に売上を拡大。
- ・カーコントロールバルブも堅調に推移する。

5

2005年11月期の予想

(単位:億円)

	2004年度 実績(A)	2005年度 予想(B)	増減(率) (B) - (A)
売上高	1,588	1,660	(+4.5%) +71
営業利益	(6.3%) 100	(6.5%) 108	(+7.8%) +8
経常利益	(5.3%) 84	(5.7%) 94	(+11.1%) +9
特別利益	1		
特別損失	16	12	4
当期純利益	41	46	(+12.1%) +5

6

その他経営指標

(単位: 億円)

	2004年度 実績(A)	2005年度 予想(B)	増 減 (B) - (A)
総資産	1,512	1,540	+28
株主資本	(25.0%) 378	(26.2%) 403	(+1.2ポイント) +25
有利子負債	532	497	35
D/E レシオ	1.4倍	1.2倍	
設備投資	107	110	横ばい
人 員	5,249人	5,250人	横ばい

7

会社の所在地別の予想

売上高

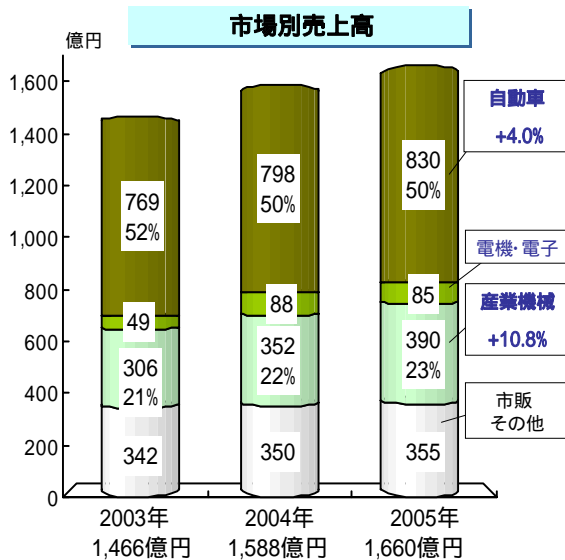
営業利益

(単位: 億円)

		2004年度 実績(A)	2005年度 予想(B)	増減率(%) (B) / (A)	2004年度 実績(A)	2005年度 予想(B)	増減額 (B) - (A)	
単 独		1,284	1,360	+5.9	65	78	+13	
子 会 社	国 内	販売会社	249	220	11.6	7	7	
		生産会社	330	352	+6.7	14	15	+1
			579	572	1.2	21	22	+1
	海 外	米 州	180	192	+6.7	8	10	+2
		欧 州	81	81		1	1	
		アジア	66	77	+16.7	3	5	+2
			327	350	+7.0	13	16	+4
	計		906	922	+1.8	34	38	+5
	小 計		2,190	2,282	+4.2	98	116	+18
	消 去		601	622		2	8	
連結売上高		1,588	1,660	+4.5	100	108	+8	

8

市場別の売上高



自動車業界

- ・堅調な生産、設備投資が持続
- ・自動車の高機能化を含めて、**成長分野**と位置づける。

電機・電子業界

- ・サイクルに左右されるが、成長著しい分野
- ・市場開発型でとり組み、超精密加工分野をリードする

産業機械業界

- ・工作機械、建設機械、印刷機械、プレスマシンなど
- ・それぞれ市場規模は小さいが、市場に拡がりがあり、**安定したビジネス**が可能

9

「成長機会」を拡大する

自動車など成長分野向けの生産設備・生産方法を近代化

大型ロボット事業を強化

- ・大型・重可搬ロボットの専用工場を建設(2005年5月竣工)
- 大型ロボット300台 400台生産体制へ
- スポット溶接用、重量物搬送用、大型ガラス基板搬送用



新しい機械加工システムの市場を拡大

- ・エンジン MQL加工システム(MQLパワーセル&パワードリル)
- ・トランスミッション ハード加工システム(ハードブローチ&ブローチ盤)

10

「成長機会」を拡大する

精密工具事業を強化

ブローチの生産体制を拡充

- ・自動車部品用(大径ヘリカルブローチ)
- ・発電・航空機用(クリスマスツリー型ブローチ)



工具の再研削、再コーティング事業を拡大

コーティング設備、拠点を整備・拡充



カーコントロールバルブ事業を拡大

A/T用電磁弁の生産体制を強化



自動車用高性能ベアリングの世界三極生産を拡大

チェコ、タイ、中国、ブラジルなど



次世代DVD用の超精密加工機械を市場投入

「ナノアスファ」

11

「安定性」を増す

独自の複合・連環型技術を活かせる産業機械分野で、安定した収益基盤を確立する。

(それぞれ市場規模は大きくないが、開発型案件が多く、裾野がひろい)

工作機械など産業機械用の油圧バルブ、建設機械(ミニショベル)用油圧ポンプ・モーターの生産能力を拡大



工作機械、印刷機械、減速機用など、産業機械用高性能ベアリングの生産性を向上



12

「安定性」を増す

社内のロボット活用を推進

現状150台稼働 当面300台へ

- ・油圧機器、ベアリング、工具、マテリアル部門の各工程で高機能ロボット(視覚・力センサー等)を導入し、生産性、品質を向上する。



- ・アプリケーション技術を蓄積し、カスタマーへ展開



新市場の開発

- ・免震システム「マグニクレードル」のシリーズ、アプリケーションを拡大
医療機器、什器などへ展開



13

NACHI

<http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

問い合わせ先 経営企画部

TEL 03 - 5568 - 5210

FAX 03 - 5568 - 5215

E-mail : kikaku@nachi-fujikoshi.co.jp

本資料には、将来の業績見通し、事業計画等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提にもとづいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。